

# 平成30年度事業計画（案）

（ ）は前年度予算

## [I] コンベンション推進事業

453万円（631万円）

市内で開催される学会や大会、国際会議、展示会などの各種コンベンションを積極的に誘致することで地域の活性化につなげます。

コンベンションは年々都市間の競争が激しくなる中、長岡ならではのまちの魅力と特性をアピールしながら、内外の関係者との連携をより密にするとともに、実態に即し見直しを行った支援メニューを有効活用し、品評会等の錦鯉関係の誘致やフィルムコミッション事業も合わせて行政と連携し、地域経済への波及や交流人口の拡大に努めます。

### 1. コンベンション誘致活動事業

131万円（167万円）

#### (1) コンベンション開催情報の収集

- ア 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）からの大会開催情報や、過去の誘致活動で得た情報、他都市での開催状況等をもとに、長岡開催に向け地元の学術機関や事業所等を積極的に訪問し、関係情報の収集を行います。
- イ 新潟県観光局、新潟県MICE研究協議会、東北地区コンベンション推進協議会など関係機関と連携し、MICEに関する情報等の共有を図ります。
- ウ スポーツ大会については、長岡市及び公益財団法人長岡市スポーツ協会等との連携により情報収集を進めます。

#### (2) コンベンション環境の発信

- ア 全国規模のコンベンション見本市である国際MICEエキスポ（IME）及び東北地区コンベンション推進協議会が主催する首都圏合同誘致セミナーへ出展し、来場者に長岡のPRを積極的に行います。
- イ 長岡市内のコンベンション施設情報や開催助成金制度等を掲載したパンフレットの他、ホームページを活用し長岡のMICE環境やユニーク・プログラム等を市内外に発信します。  
また、コンベンションカレンダーを作成し、長岡市内で開催されるMICE情報を会員に提供し、会員のビジネスチャンスの拡大を図ります。

#### (3) コンベンションの誘致活動

- ア 長岡市内の学術機関をはじめとする関係者や、MICE開催に係る首都圏の学会事務局等を中心に訪問し、長岡での開催を働きかけ、支援や補助金内容のアピールとともに、キーマンへのアプローチに努めます。
- イ 長岡市やスポーツ団体等との連携を図り、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿をはじめ、長岡での大会や事前合宿に協力します。

**(1) コンベンション開催補助金等**

主催者の経費負担の軽減をするためコンベンションへの開催補助金を交付するとともに、国外参加者が多く見込めるコンベンションへの補助金制度を活用しコンベンションの成功を側面から支援します。

また、伝統芸能、アトラクション、エキスカーション、送迎バスの利用に対して助成を行い、心に残るMICEとなるよう支援します。

**(2) 歓迎看板の設置等**

コンベンション参加者への歓迎の意を表すため、一定規模以上のコンベンションは市中心部に歓迎ポスターを掲出したり、新幹線改札口上部に歓迎看板を設置することで歓迎気運の醸成を図ります。

また、独自デザインのコンgresバッグの他、観光パンフレットを提供し、市内観光や長岡への再訪に繋がります。

**(3) 長岡ならではの開催支援**

各分野の会員と相談しながら、長岡独自のプログラムの創設について検討します。

また、主催者や参加者から大変好評の「長岡の地酒振舞い」を継続して実施します。

**(4) MICE開催関係者へ個別説明の実施**

長岡市内の学術機関をはじめとする関係者の方々を対象に、長岡観光コンベンション協会及び新潟県の開催助成金制度や支援メニューの説明を個別に行い、長岡開催を促します。

**(5) エキスカーションの充実**

各種学会や大会の前後に行われるエキスカーションやツアーについて、長岡の歴史や文化、地元の特色を生かした食の紹介など、会員との連携によりニーズに応じたきめの細かいサービスを提供するとともに魅力あるエキスカーションの開発を進めます。

**(6) フィルムコミッション支援**

ロケーション撮影に伴う本市のイメージアップや、宿泊又は飲食などの直接的及び間接的な経済効果に繋がるよう、新潟県FC協議会と連携したロケ誘致活動を長岡ロケなびと協力して展開します。合わせて、長岡ロケなびの会員拡大活動と広報活動に協力していきます。

観光における地域間競争が激化するなか、長岡の有する花火・日本酒・錦鯉・火焰土器等の観光資源を活用しながら、多様な観光ニーズに応えられる魅力ある観光地づくりに努めるとともに、当協会のホームページ等を通してSNSを活用して、広く内外に長岡の魅力を情報発信することで知名度の向上に取り組んでいきます。

また、長岡開府400年や戊辰150年、東京オリンピック・パラリンピックに向け、増加する訪日外国人に対応したおもてなし体制の充実を図り、インバウンドの推進にも取り組んでいきます。

さらに、平成31年10月から12月に開催が決定した「新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン」(新潟DC)を見据え、県外からの観光誘客については首都圏での観光PR等を引き続き積極的に行うとともに、平成30年の秋には「プレデスティネーションキャンペーン」と位置づけ、広域観光ルートの設定等、関係市町村との観光面での連携を進めることで交流人口の拡大に努めます。

以下、※印の事業は「越後長岡」観光振興委員会事業として当協会が実施するもの

## 1 観光誘客活動事業

443万円 (539万円)

### (1) 観光資源のブラッシュアップによる旅行需要喚起の取組み 【一部新規】(一部※)

旅行者のニーズを捉えながら自然や文化、歴史、食などの観光資源の磨き上げを、関係機関、民間事業者等と一体になって進めます。農業関連では野菜収穫や田舎ビュッフェ、産業関連では酒蔵・菓子・工芸、歴史関連では長岡開府400年や戊辰150年に伴う、河井継之助記念館など、長岡の有力な観光素材を広く情報発信します。特に新潟県観光協会が推進する、食で地域のストーリーを伝える「日本海ガストロノミー」を取り入れた新しい観光素材の提案を平成30年プレDCからすすめ、31年のDC本番のみならず32年のアフターDCまで3ヶ年で実施していきます。

また、首都圏からの誘客を図るため引き続き観光商談会及び旅行エージェン特との関係強化と、商品造成を目的としたフォローアップセールスを行います。関西方面については観光商談会に参加するとともに、新潟県と連携し広域観光を意識した長岡の観光PR活動に努めます。

### (2) WEB・SNS等による情報の発信の取組み

ホームページを活用し、市内の観光協会や佐渡地域等と連携した広域観光ルートモデルコースの情報発信に引き続き取り組みます。

また、SNSを活用し広く「観光PR活動」や「長岡の魅力」の情報発信に取り組むとともに、動画コンテンツを活用した観光情報発信にも努めます。

### (3) インバウンド推進に関する取組み 【一部新規】

国が進める訪日旅行促進事業(ビジットジャパン事業)と協力連携し、日本政府観光局(JNTO)の賛助会員として最新のインバウンド情報を取得し訪日誘客に努めます。セールス面ではトラベルマート等に参加して直接外国窓口へのアプローチを行なうほか、新潟県や新潟市、新潟佐渡観

光推進機構や長岡花火財団等と連携し、積極的に誘致を行います。また情報発信の面では、長岡の観光素材をJNTOのチャンネルでホームページや現地事務所に発信するほか、在住留学生との連携による実体験に基づく魅力発信を通じ、観光PRの拡大を図ります。

そのほか、外国人観光客へのサービス向上のため協会員向けの「おもてなし講座」の開催や、英語等通訳者の登録制度を広く告知しながら活用を図り、学会等におけるヘルプデスク対応や、ボランティアガイドとの組み合わせによる外国人の観光ガイドに対応できるようにすることで、滞在しやすい環境づくりを進めます。

#### (4) 「越後長岡歴史館・博物館めぐり」の実施 ※

JR東日本「駅からハイキング」事業と連携し、山本五十六記念館や河井継之助記念館などの長岡駅周辺施設をスタンプラリーで結ぶ「越後長岡歴史館・博物館めぐり」を引き続き行います。

また、昨年度から始めている寺泊水族博物館や良寛の里美術館など市全域の博物館の紹介を継続し、広く市域への誘客・拡散を図ります。

#### (5) 「長岡の地酒」を活用したシティプロモーション事業 ※

長岡市の対外的なイメージアップ戦略として、市内の蔵元や販売事業者、飲食店業者と連携し、「長岡の地酒」を活用したシティプロモーション事業を推進します。

市内飲食店との連携による「美酒めぐり」や「酒の陣」などのイベントを通じて、「長岡の地酒」の魅力を積極的に発信するとともに、市外・県外から誘客を図るための仕掛けを施し、越後長岡地酒ファンの創出を目指します。

また、関係者と協力しながら「十分盃」を活用した長岡の地酒のPRを行います。

#### (6) 二次交通の運行事業 (一部※)

列車利用者等の利便性向上と観光客の受入にとって重要性の高い二次交通の充実を図るため、観光タクシーの運行事業に継続して取り組みます。

観光タクシー「駅から観タクン」についてはJR東日本との連携を深めるとともに、「観タクン」長岡版の独自パンフレットを作成し、首都圏等への告知PRに努めます。

また、従来実施してきた観光乗り合いタクシー（デマンドタクシー）に代わり、観光客が更に利用しやすい新しい観光貸し切りタクシーの運行に取り組みます。これにより更に長岡地域における着地型旅行商品の充実を図ります。

#### (7) 観光レンタサイクル事業の実施

観光客等の利便性向上のため、市中心部の周遊観光に利用できる「観光レンタサイクル」事業を有料（1回300円）で引き続き実施します。

## 2 広域観光・連携活動事業

19万円（37万円）

#### (1) 北陸・上越新幹線を活用した観光振興事業 【一部新規】（一部※）

JRイベント列車「越乃Shu\*Kura」を活用した、北陸新幹線～上越新幹線の周遊コース

を、旅行エージェントに対し商品提案を行い、誘客を図ります。また、車内イベントでの地酒PRに関係各所と協力して参加し、長岡の地酒や蔵元の情報発信を行います。

新潟県観光協会大阪事務所や関西の旅行会社との連携を深め、関係市町村などと広域連携の中で、新潟入りする団体行程に長岡の立寄りや宿泊箇所を提案して誘客を図ります。

加えて、産業、農業、自然、文化等での長岡を中心とした広域観光ルートの設定を進めながら、長岡への立寄りを提案し誘客を図ります。

## (2) 中越地区広域観光連盟・市内観光協会との連携事業 【一部新規】

中越地区広域観光連盟(長岡市・柏崎市・小千谷市・見附市・出雲崎町)の事務局として、各地域と連携し、平成31年度秋の新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンに向けた観光資源のブラッシュアップを行うほか、首都圏等での観光キャラバンなど広域的な観光PRを推進します。また、市内の各観光協会と連携し、広域的に誘客活動を展開するため情報交換会の開催や新潟県観光商談会への共同企画の提案・参加などを継続して行います。

さらに、広域観光ルートを車で巡るモデルコースの作成に取組み、日本自動車連盟(JAF)と連携した情報発信に努めます。

## (3) 首都圏等でのPR・イベントキャラバンの実施

首都圏、関西圏など大都市圏での情報発信を効果的に行うため、新潟県観光協会やJR等と協力し、大規模ショッピングセンターやJR駅構内等を活用しての観光PRキャラバンに参加します。

## (4) ゆかりの地との交流推進 ※

「長岡ゆかりの地」の金沢市や、「天地人ゆかりの地」の米沢市などとの交流を継続し、双方の観光PRやイベントへの参加を通して長岡開府400年を県外に広くPRして行きます。

## (5) 「えちご雪割草街道」事業の推進

新潟県の草花「雪割草」の一大群生地となっている「国営越後丘陵公園」や「雪国植物園」に加え、長岡市に隣接する柏崎市の「大崎雪割草の里」と連携した「えちご雪割草街道」として引き続き取組いたします。県内や首都圏に向けて広く誘客PRを行います。

## (6) 観光商談会を通じた誘致活動の展開

関東圏及び関西圏へ積極的に誘致活動を展開します。長岡ならではの観光素材を選定し、旅行ツアーに組み込んでもらえるようエージェントへ積極的な働きかけを行います。また、テーマに応じて市域を越えた連携を図り、旅行商品の造成に向けた取り組みを進めます。

## 3 観光行事開催・支援事業

280万円(309万円)

### 四季のまつり

桜まつり・長岡まつり・秋まつり・雪しか祭などの四季折々のまつりを、関係機関と連携し

実施・支援します。また、イベント内容を工夫するなどして誘客拡大に努めます。

#### **4 長岡まつりふれあい広場事業** **400万円（430万円）**

長岡まつりに関し、長岡花火財団等と連携を深めながら8月2日の昼行事（ふれあい広場）を当協会が主催し観光誘客を図ります。

#### **5 観光パンフレット作成事業** **23万円（26万円）**

長岡市内各地域の四季折々の観光素材を撮影・整理・保存を行い、パンフレットや各種広告、旅行エージェント等へのPR、長岡への誘客につなげます。

#### **6 ボランティアガイド支援事業** **7万円（38万円）**

観光客の満足度を高めるため、ボランティアガイドの活動を支援するとともに、ガイドの新規会員の増加と育成に努めます。

##### **（1）ガイド技術の向上**

ガイドのおもてなしや、知識、技術の向上を図るため、研修会の開催や先進事例を学ぶことなどを支援します。

##### **（2）各種団体との連携**

広域的な観光ガイドに対応するため、市内各地域のボランティアガイド団体等との連携を促進します。

##### **（3）ガイド会員の増員**

ボランティアガイドの増員を目指し通年で会員の募集を行うとともに、観光動向の変化や多様なニーズに応えられる受入体制を整備します。

#### **7 インバウンド商談会事業** **28万円（47万円）**

海外の旅行エージェントとの商談会を通じて長岡の観光情報を広く発信し、外国人旅行者の誘客を図ります。

<b>[Ⅲ] 物産振興事業</b>	<b>40万円（36万円）</b>
-------------------	-------------------

県内外で開催されるイベント等で特産品のPRや販売を行い、新たな長岡ファンを創出します。

##### **（1）首都圏を中心とした物産活動**

長岡の「食」や「匠（伝統産業）」を観光資源として全国に向けて発信するため、首都圏（日本橋・ブリッジ新潟）等を中心に物産PR活動を展開します。また、注目度の高いイベント等にも参加し、長岡の特産品を販売し広くPRします。

(2) 地域イベントでの物産活動

長岡の銘産品を認識してもらうため、各地で開催されるまつり（長岡まつり昼行事）やイベント（JRA新潟競馬場）等に出店するなど、会員の皆さんと連携しながら物産振興に努めます。

(3) JR 長岡駅を活用した物産活動 【新規】

2017年10月5日にオープンしたCOCOLO長岡の「ぼんしゅ館」及び「イベント広場」を活用するため、㈱トッキー及び会員の皆さんと連携しながら、長岡の特産品販売を通じた情報の発信と販売促進を行います。

<b>[IV] 広報宣伝事業</b>	<b>176万円(255万円)</b>
--------------------	---------------------

インターネットや紙媒体などを効果的に活用し、観光情報を市内外に積極的に発信します。

**1 季刊誌発行事業**

**30万円(107万円)**

季刊誌「越後ながおか」を発行し、地域の観光やコンベンション情報、会員情報等を充実させ、観光誘客や会員相互の交流につながる誌面作りをします。

**2 インターネット発信事業**

**110万円(110万円)**

当協会のホームページ「ながおか観光 NAVI」により、観光情報や会員情報をタイムリーに発信するとともに、興味をひくホームページづくりに努めます。

**3 その他宣伝活動事業**

**36万円(38万円)**

「FMながおか」で、毎週1回長岡の最新情報を発信します。  
また、テレビ、ラジオ、雑誌等様々な媒体を活用し、観光情報などを積極的にPRします。

<b>[V] 観光プラザ等運営事業</b>	<b>1,021万円(1,061万円)</b>
-----------------------	-------------------------

**1 観光プラザ運営事業**

**431万円(466万円)**

協会会員の物産販売と企業PRをはじめ、各地域の観光情報及び「まちの駅」として、地域に密着した情報を提供していきます。

## 2 長岡駅観光案内所運営事業

590万円(595万)

公共交通機関を利用し来訪される観光客等へ、長岡の表玄関としての確かつ迅速な観光情報を提供します。

また、英語を話せるスタッフを駐在させるとともに、外国語版の観光パンフレット等を用意し、利便性を高めます。

【新規】TIC TOKYO（東京駅日本橋口のインバウンド案内所）との連携により、首都圏の情報及び県内の案内所とのネットワーク化を進め、外国人観光客の利便性や誘客促進に努めます。

### [VI] お土産販売事業

1,800万円(1,800万円)

各地域の特産品を発掘し、来訪者に長岡ならではの土産品を提供します。

### [VII] 長岡駅陳列ケース運営事業

130万円(130万円)

陳列スペースを有効活用し、特産品及び観光情報を効果的に発信します。

### [VIII] 観光客受入れ関係事業

167万円(184万円)

中越文化・観光産業支援機構の一員として物品の維持管理を行い、その事業が観光誘客に繋がるように協力を行います。

### [IX] 管理費

8,187万円(8,293万円)

#### 1 財政基盤の強化（協会会員の勧誘）

事務局による勧誘はもとより会員の紹介などにより、組織的に会員増に努めます。また、広域観光を推進するために、各地域の企業からも会員になってもらえるよう勧誘活動を行います。

また、お土産販売やホームページのバナー広告など、独自財源の確保を行います。

#### 2 事業計画立案、事業推進の強化

理事会及び専門部会での協議をもとに事業を企画立案し、積極的に事業を推進します。